

経営比較分析表（令和2年度決算）

佐賀県伊万里・有田地区医療福祉組合 伊万里有田共立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	25	対象	ド訓	救 臨 感 災 地 輪
人口(人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	17,283	-	第2種該当	7:1

1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

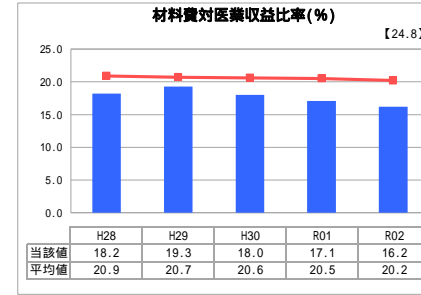
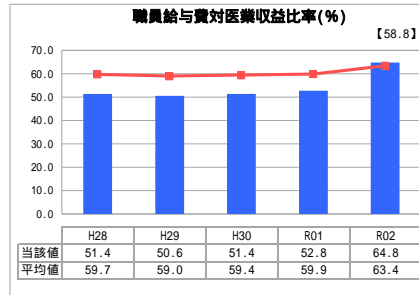
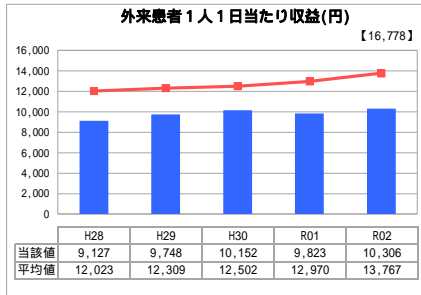
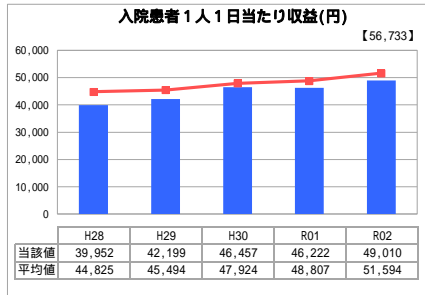
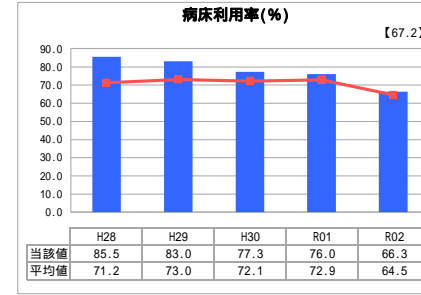
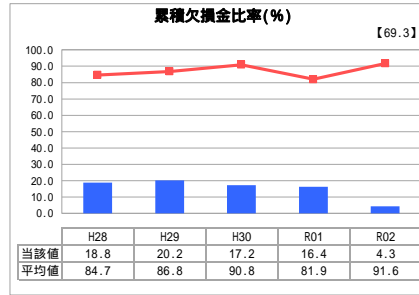
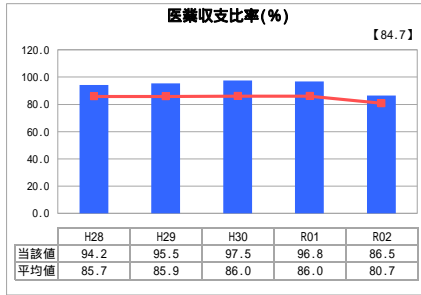
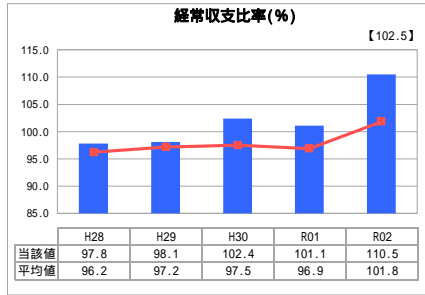
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
202	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	4	206
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
202	-	202

グラフ凡例

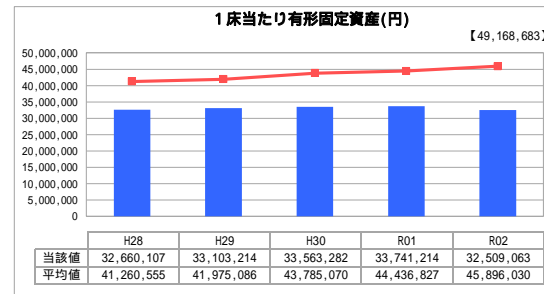
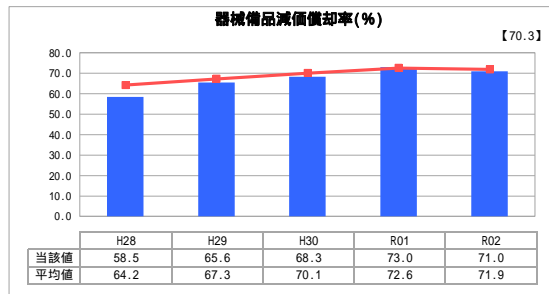
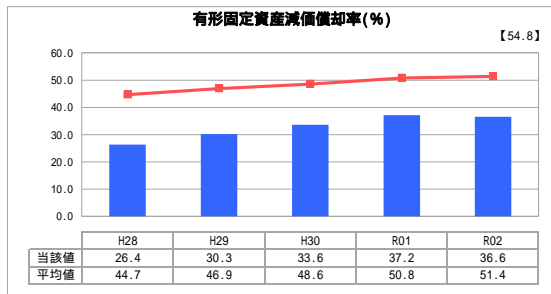
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

地域において担っている役割

佐賀県西部地域の地域医療支援病院として、急性期医療などの質の高い医療を提供する役割
 安心安全で受診できる地域住民のための病院としての役割
 患者の紹介・逆紹介や高度医療機器の共同利用、診療情報地域連携システム等を活用し、地域における病病・病診の医療連携を強化する役割
 地域の医療従事者の資質の向上を図るため研修会等を開催し、地域医療の充実を担う役割
 災害拠点病院として、災害発生時における医療救護活動及び県等の要請による医療救護隊を派遣する役割

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は昨年度より増加し、3年連続で黒字である。
 累積欠損比率はここ数年減少傾向にあり、平均を大きく下回っている。
 病床利用率は平均を上回っているが、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少傾向が続いている。利用率の向上を図るため、医師の増員等に取組んでいる。
 入院及び外来患者1人1日当たり収益は、昨年度より改善したものの、依然平均を下回っている。さらなる改善を図るため、救急患者の積極的な受入や関係機関への医師確保に向けた要望等の取り組みを行っている。
 職員給与費は削減できていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い受診を控える傾向が高まったことにより医療収益が減少となったことから、職員給与費対医療収益比率が増加している。

2. 老朽化の状況について

平成24年3月に新病院として開院し、経過年数がまだ9年であることから、有形固定資産減価償却率は平均を下回っている。
 器械備品の更新を進めたことから、器械備品減価償却率は昨年度より改善し、平均を若干下回ることができた。今後も改革プランに基づき、計画的な更新を行う。
 1床当たり有形固定資産は、昨年度より改善し平均を約1,300万円下回ることとなった。設備投資が適切であることを示している。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響により入院及び外来患者数が減少し、それに伴い収益も減少することとなったが、国や県からの支援を受けつつ経費節減に努めることにより、3年連続で黒字を達成することができた。
 今後も、健全かつ安定的な病院運営を推進するとともに、伊万里市及び有田町が共同運営する中核病院として、佐賀県西部医療圏における医療機関同士の連携や医療資源の効率的運用の促進等を通じて、地域住民が安心して生活できるよう、医療環境のさらなる充実を目指していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。